

## 宮下所長の暮らしに役立つ医療のはなし

### できるだけ 自分の住みたいところに 住みつづけるために

#### 災害時の体調変化を最小限に

自分にあった薬、というのがあります。同じ成分の薬でもジェネリックは合わないけど元々出ていた薬なら大丈夫、便秘薬も水薬はいいが錠剤はどうも合わない、という人もいます。

2018年は災害の多い年でした。避難所に行くことを想像してみましょう。避難袋にお薬手帳も入っています。その中には今までの経過や、薬・食べ物のアレルギーなどをプリントした紙も

はさんであり、完璧です、といたいところですが、薬の残りがありません。避難所で鎌倉市は自分に必要な薬、合った薬を配ってくれるでしょうか？配ってはくれません。毎日飲まなければならない糖尿病の薬、脳梗塞予防で血液をサラサラにする薬、血圧の薬、便秘薬、精神安定剤、認知症の薬など、どの自治体でも市民の皆さんそれぞれにあった薬を備蓄できるほどの財政的余裕、保管場所の余裕はないでしょう。応急的な血圧の薬、熱冷まし、痛み止め、抗生物質は用意してくれますけどね。

災害のため物流が滞ると、薬問屋さんから



所長 宮下 明

診療所への納品がなくなるため、たとえば診療所が壊れずに残っても平常時のような供給はしばらくできなくなります。今飲んでる薬の10日分は備蓄していただきたい。薬は半年～1年くらいはもちますから避難袋に入れて、9月1日の防災の日に入れ替えてください。(ただし割った薬、一包化した薬\*はもちません)

東日本の大震災が起こった後、備蓄

しましょう、と薬を長めに出したことがありましたが、結局それがなくなってから来院するかたが多かった記憶があります。「備蓄用に分けて、それを避難袋に入れる」ことが大事です。え、避難袋を用意してないって？

< \* 一包化した薬 >

服用時期が同じ薬や1回に何種類かの錠剤を服用する場合などに、それらをまとめて1袋にしたもの



### 患者満足度アンケートにご協力いただき ありがとうございました

事業所利用委員会では利用しやすい診療所をめざして、毎年患者様の利用満足度アンケートを実施しています。

今年は11/26(月)～30(金)の午前に受診された患者様より107件の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

取り急ぎ、結果を報告させていただきます。結果をふまえ改善を検討してまいります。

年齢							
40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	
4人	10人	25人	41人	22人	3人	2人	

#### 事業所利用委員会

①待合室の印象はいかがですか			
良い	ふつう	悪い	不明
42人	62人	3人	0人
②受付は声をかけやすいですか			
かけやすい	ややかけにくい	かけにくい	不明
105人	2人	0人	0人
③職員(医師含む)の言葉づかいや態度はいかがでしたか			
良い	ふつう	悪い	不明
89人	19人	0人	0人
④職員(医師含む)には聞きたいことを十分に聞くことができましたか			
できた	やや出来なかった	出来なかった	不明
89人	14人	3人	1人
⑤診察までの待ち時間はいかがでしたか			
短い	ふつう	長い	不明
6人	39人	61人	1人
⑥当日の受付がスマートフォンからできるようになるとしたら			
スマホから自分で受付	スマホから家族に頼んで受付	利用しない	不明
43人	0人	43人	21人
⑦「虹の箱」をご存知ですか			
知っている	利用したことがある	知らない	不明
68人	2人	37人	0人
⑧深沢中央診療所を知り合いに紹介したいと思いませんか			
思う	あまり思わない	思わない	不明
79人	23人	5人	0人

